

令和 5 年 4 月 26 日

【照会先】国立社会保障・人口問題研究所 電話 03 (3595) 2984  
人口動向研究部長 岩澤美帆(内線 4470)  
人口動向研究部室長 守泉理恵(内線 4474)  
情報調査分析部室長 別府志海(内線 4437)

報道関係者 各位

## 「日本の将来推計人口（令和 5 年推計）」結果の概要を公表します ～総人口は 50 年後に現在の 7 割に減少し、65 歳以上人口はおよそ 4 割を占める。 前回推計よりも出生率は低下するものの、平均寿命が延伸し、外国人の入国超過増により 人口減少の進行はわずかに緩和～

国立社会保障・人口問題研究所は、令和 2 (2020) 年国勢調査の確定数を出発点とする新たな全国将来人口推計を行いましたので、その結果を「日本の将来推計人口(令和 5 年推計)」として公表します。

日本の将来推計人口とは、出生、死亡、国際人口移動について、実績値の動向をもとに仮定を設け、日本全域の将来の人口規模、男女・年齢構成の推移について推計を行ったものです(対象は外国人を含む日本に 3 か月以上にわたって住んでいる、または住むことになっている総人口)。

### 【推計の方法】

- ・国際的に標準とされる人口学的手法にもとづき、人口変動要因である出生、死亡および国際人口移動に関連する統計指標の動向を数理モデル等により将来に投影する方法で推計(pp. 7～12)。
- ・今回の推計では、2020 年までの実績値をもとに、2020 年 10 月 1 日現在の男女別年齢各歳別人口(総人口)を基準人口として、2021 年から 2070 年までの人口について推計(出生 3 仮定、死亡 3 仮定の組み合わせによる 9 本の「基本推計」)。このほか「長期参考推計」(2071～2120 年)、「日本人人口参考推計」および出生、国際人口移動について機械的に条件を変えた「条件付推計」を参考として実施。

### 【主要な結果】

#### 1 前回推計(平成 29 年)と比べ合計特殊出生率は低下、平均寿命はわずかな伸び、外国人入国超過数は増加

- ・合計特殊出生率は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大以前から見られた低迷を反映し、長期的投影水準は、前回推計の 1.44(2065 年)から 1.36(2070 年)に低下(中位仮定)。また短期的には新型コロナウイルス感染期における婚姻数減少等の影響を受けて低調に推移(p. 43 表 4-1、p. 47 図 4-1)。
- ・平均寿命は、2020 年の男性 81.58 年、女性 87.72 年が、2070 年には男性 85.89 年、女性 91.94 年に伸びる(中位仮定)。長期的投影水準は、前回推計(2065 年に男性 84.95 年、女性 91.35 年)と比較して、わずかに伸びる程度(p. 44 表 4-2、p. 47 図 4-2)。
- ・国際人口移動は、日本人の出国超過傾向がわずかに緩和。外国人の入国超過数は、新型コロナウイルス感染期を除く近年の水準上昇を反映し、長期的投影水準は、前回推計の年間約 6 万 9 千人(2035 年)から今回の約 16 万 4 千人(2040 年)へ増加(pp. 45～46 表 4-3～4-5、p. 48 図 4-3～4-5)。

#### 2 総人口は 50 年後に現在の 7 割に減少、65 歳以上人口はおよそ 4 割に(出生中位・死亡中位推計)

- ・総人口は、令和 2 (2020) 年国勢調査による 1 億 2,615 万人が 2070 年には 8,700 万人に減少する(2020 年時点の 69.0%に減少)(出生中位・死亡中位推計、以下同様)(p. 19 表 1-1、p. 26 図 1-1)。
- ・総人口に占める 65 歳以上人口の割合(高齢化率)は、2020 年の 28.6%から 2070 年には 38.7%へと上昇(p. 19 表 1-1、p. 26 図 1-2)。
- ・前回推計と比較すると、2065 年時点の総人口は前回 8,808 万人が今回 9,159 万人となる。総人口が 1 億人を下回る時期は 2053 年が 2056 年になり、人口減少の速度はわずかに緩む。これは国際人口移動の影響が大きい(p. 13 推計結果の要約、p. 19 表 1-1)。
- ・65 歳以上人口割合(高齢化率)は、2065 年時点で比較すると前回推計と変わらず 38.4%。65 歳以上人口(高齢者数)のピークは、前回は 2042 年の 3,935 万人、今回は 2043 年の 3,953 万人に(p. 19 表 1-1)。

#### 3 出生高位および低位の仮定による推計ならびに日本人人口に限定した場合の推計

- ・2070 年の総人口および 65 歳以上人口割合(高齢化率)は、出生が高位仮定(1.64)の場合、それぞれ 9,549 万人、35.3%、低位仮定(1.13)の場合、それぞれ 8,024 万人、42.0%(pp. 20～21 表 1-2～1-3、p. 26 図 1-1～1-2)。
- ・日本人人口に限定した参考推計(出生中位・死亡中位推計)では、2070 年の日本人人口は 7,761 万人、65 歳以上人口割合は 40.9%(p. 59 日本人参考推計表 1、p. 61 日本人参考推計図 1～2)。

【別添資料】「日本の将来推計人口(令和 5 年推計)結果の概要」